



HAKUOH

PLUS ULTRA

白鷗大学足利高等学校 平成31年3月31日発行



▲全国選抜大会出場を決めた選手たち

◀卒業式での学校長式辞

▼富田校舎 合唱祭の風景

▼白鷗祭 書道パフォーマンス



平成31年

3/31

第58号

○「人に優しく、学び続けよ」 学校長 岡部 宣男	2ページ
○卒業生に贈る言葉	3ページ
○学窓の思い出	4~5ページ
○進学・就職状況	6~7ページ
○活躍する部活動	8~11ページ
○白鷗大学だより	12ページ
○本校舎トピックス	13ページ
○白鷗祭	14ページ
○富田キャンパストピックス	15ページ
○PTAだより・新生徒会・他	16ページ



人に優しく、学び続けよ

白鷗大学足利高等学校長 岡部 宣男

自然の恵みが春の訪れを感じさせる佳き日に、卒業を迎えた556名の皆さん、卒業おめでとう。本校での3年間、皆さんが積み重ねた努力に心から称賛の拍手を送ります。



入学したての頃

今、皆さんが感じている喜びは、

皆さんの健康や学習のサポート、部活動の応援など、入学以来絶えず皆さんを気遣いながら支えてくださったご家族をはじめ、周囲の方々の励ましがあったからだということ胸に刻んでおいてください。

鉄道が大好きで、幼い頃からの夢であった車掌業務を目指し、JR東日本に合格した女子生徒、フランスにサッカー留学し、将来のJリーガーを目指す生徒、かわいがってくれたおばあちゃんの死を契機に医師になることを目指し、医学部に合格した生徒、外国籍でありながら日本語が上達し、素晴らしい文章を書く生徒など、本校

で夢を叶えるための力と勇気を得てそれぞれの進路に向かい、飛び立つ卒業生たち。今後の、たくましく成長された凛々しい姿が目に見え、浮かぶようです。21世紀を担う皆さんに期待し、はなむけの言葉を二つ贈ります。

まず一つ目は「学ぶ心、学ぶ姿勢を持ち続けてほしい」ということです。高校では、社会に出て必要なすべての学問・知識を学んだわけではありません。人生の諸問題を的確に解決できる知識・知恵・判断力・専門的なスキルというようなものは、これから学び身につけていくものです。大学や専門学校に進む人ももちろん、直ちに実社会の仕事に携わる人も、こ



3年間学んだ教室(本校舎)

れからです。学生時代の成績が良かったか悪かったかではなく、真剣に物事に取り組むかどうかによって、人生の勝負が左右されるのです。どうか、学ぶ心だけは生涯失うことなく、自己研鑽に努めてください。

二つ目は「意欲ある人間であれ」ということです。皆さんが生きてきた時代、またこれから生きていく時代も、変化の激しい、難



力いっぱい走った校庭(富田校舎)

しい時代になることが予想されます。一生の間には、自分の力ではどうにもならないことが突然起こるということも考えられます。

では、そうした時代を乗り切るには、何が大切なのでしょう。か。我慢すること、節約すること、皆大切です。しかし、私はどんな時代であっても大事なことは試練に打ち勝つたくましい心、取り組み意欲、やる気、いわゆるバイタリテイだと思います。バイタリテイの根源：それは皆さんが常に目標・夢を持つことです。

ここで、私の好きな詩を紹介いたします。

取り組み姿勢
それが人生において、もっとも大切なことだ。
意欲は成功をひきつけてくる。

たくましい意志は安逸をふり切る。
勇猛心は、困難に立ち向かう。それらが身にそなわると、閉ざされた、いかなる鉄の扉も必ず開く。
開かないのは、たたきようが弱いからだ。
一度たたいて、開かずとも、二度たたけ、三度たたけ、五度たたけ。
誠実、努力のこぶしでたたきにたたけ。
扉は必ず開く。



それぞれの道を歩む卒業生たち

渡良瀬の水もぬるみ、やがて校舎の周りの木々が芽吹きます。通いなれた通学途上の風物とも別れ、皆さんはそれぞれ巣立っていきます。「年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず。」卒業生の皆さん、いつの日か青春を懐かしむ時が来たら、母校を訪ねてください。そして友と師と共に昔を語ってください。皆さん一人ひとりの健康と多幸を祈っています。

卒業生に贈る言葉

前へ



教頭 長 光則

もう古い話になりますが、明治大学のラグビー部に北島忠治という名物監督がいました。明治大学を卒業後すぐ監督になり、95歳で亡くなるまで67年間も監督を務め、教え子にとどまらずラグビー界の多くの人から愛された人物でした。

明治大学のラグビーと言えば、ライバルの早稲田大学のバックス中心の展開ラグビーとは対照的に、強力フォワードで押し込んでいく戦法が有名です。その戦い方通り、北島監督は「前へ」という言葉を好み、「前へ」は今でも北島監督や明治大学ラグビー部の代名詞になっています。

しかし、北島監督が周囲から絶大な信頼を得たのは「前へ」がグラウンド上だけのものではなく、普段の学業にも前向きに取り組み事や、どんな逆境や挫折にも逃げずに諦めない事など、生き方そのものの教訓であったからです。

夢を諦めない



教頭 須藤 敏哉

卒業生の皆さん、現代のように先が見えず、変化の激しい時代だからこそ「前へ」の精神が大切になるのではないのでしょうか。物事の善悪や本質を見極める目を養い、どんな試練にも屈することなく、しっかりと前を向いて歩んでください。

昨秋、歴史家加来耕三先生の講演で「未発の発芽」という言葉を知りました。植物の発芽が、地中の長い時間を経て成されるように、事が起こるには必ず準備がある。歴史に奇跡や偶然はあり得ない。また、人間がある日突然飛躍したり、変身したりすることもあり得ない。物事は全て成るべくして成り、起こるべくして起こるといふのです。

3年前「夢」や「目標」を胸に本校へ入学してきた皆さん。その

回り道こそ人生の醍醐味

普通コース長兼教務主任 佐藤 加津子



卒業おめでとうございます。皆さんは、それぞれの道へ新たな一歩を踏み出しましたが、これから長い人生の中で、様々な困難に遭遇することでしょう。

作家の吉川英治さんは人生を登

山に喩えて「登山の目標は山頂と決まっている。しかし、人生の面白さ、生命の息吹の楽しさはその山頂にはなく、かえって逆境の山の中腹にあり、人生の醍醐味はその回り道にこそある。」と述べています。

私はこの言葉で自分の生き方について考えさせられたことが何度もありました。皆さんもこれから生きていく中で、何事も順調に進

更なる学びへ向けて

総合選択コース長兼教務主任 古橋 久徳



「学問せぬものは目なきすり鉢となつてな、人のためにも自分のためにもならん、当人はそのことに気付かず未熟な自分ひとりの考えを正しいと信じて一生を終えてしまうものだ。」

(乙川優三郎『露の玉垣』より)
皆さんは、3年間の高校生活の中で、多くのことを学んだことと思います。学びは、教科のことだけでなく、より多様な地域から集まった仲間たちから得たものもたくさんあると思います。世の中

まず、頑張ったことが無駄だったと思うことや八方ふさがりで絶望的になることもあるでしょう。しかし、失敗や無駄と思える回り道にこそ、豊かな実りを生むための宝が多く眠っていることを忘れなideてください。

うまくいかないことが当たり前だと前を向き、失敗を恐れず、困難に対しても諦めない生き方ができた時こそ皆さんの夢が実現する時です。自分の可能性を信じ、未来に向かつて歩んでください。

にはいろいろな考え方をしている人がいて、そうした「異質」なものとの交流の中から新しい価値観が生まれ、私たちは広い視野に立った行動ができるようになるのです。

情報過多な現代だからこそ、内容の真偽を見極められる目を持つことが大切になります。学びの中から、物事を鵜呑みにしない自分へと飛躍してください。意志あつて物事を見ることができれば、学びと発見は一生途切れることはありません。また、身近な人からの学びの可能性はいつでもあります。皆さん、これからも更なる学びへ向けて歩いてってください。



PLUS ULTRA

学窓の思い出



卒業式



特別選抜コース
3年2組
櫻井 香織
(板倉中)

新潟大学 農学部 農学科 流域環境学プログラム

本校で過ごした3年間は、刺激的で日々奮闘の毎日でした。

その中で「どんなことにも一生懸命取り組み、お互い助け合ひましょう。」という先生の言葉が印象に残っています。学校行事では、その言葉を意識して、一人一人がみんなのことを考えて行動し、クラスの絆を深めることができました。特に、合唱祭では実行委員長としての責任を果たすとともに、クラスでも優秀賞を取ることができ、一番の思い出となりました。

合唱部と科学部にも所属し、様々な経験をしました。挫けそうな時も互いに支え合った友人がいたからこそ、充実した高校生活を送れました。今後も先生の言葉を忘れずに、目標を実現させたいと思います。ご指導して頂いた先生方、ありがとうございます。



特別選抜コース
3年1組
飯塚 莉咲
(佐野北中)

青山学院大学 法学部 法学科

友人に恵まれたこの3年間は、私にとって、とても充実したものになりました。

定期試験や模擬試験、日々の小テストなどの勉強に追われ、心が折れそうになったこともありましたが、そんな時、私は何度も友人の存在に救われました。わからない所を教え合い、時にはライバルとして共に乗り越えてきました。

休み時間にお腹が痛くなるくらい笑ったこと、行事で喜びあつたこと、涙を流したことです。こうして振り返ると、何かを成し遂げようとするときに必ず支えてくれた友人がいたことに気付きました。大学進学後も人との繋がりを大切に、日々精進していきたいと思えます。3年間ありがとうございました。



中高一貫教育コース
3年1組
増尾 宇紘
(白鷗足利中)

獨協医科大学 医学部 医学科

私が本校で過ごした6年間は、大変なこともありましたが、とても充実していました。私は中高一貫教育コースの第三期生として入学し、学友達と日々切磋琢磨しながら、勉強に励んできました。

中でも、私が最も充実していたと感じていることは、SSH活動です。高校1年次では、数学に関連した研究を行い、2年次では進路希望の分野である医学に関する

研究を行い、英語で発表しました。このような活動をするのができたのは、大学の先生方や本校の先生方のご協力のおかげです。この経験を大学進学後や、社会に出てからも生かしていきたいと思えます。6年間本当にありがとうございました。



体育祭

んだり、パワーポイントを駆使して研究発表会を行いました。このことは貴重な体験であったと、強く心に刻まれています。

私が最も多くの時間を費やしたのが合唱部の活動です。仲間と共に練習に励み努力を積み重ねた日々や、その仲間の存在は、かけがえのないものであり、私の一生の思い出です。

本校で学んだことや多くの思い出を胸に、進学後も努力を忘れず歩んでいきたいと思えます。3年間本当にありがとうございました。

群馬大学

理工学部 機械知能システム理工学科



進学コース
3年4組
荒井 颯太
(大泉北中)

本校で過ごした3年間は長いようで短い期間でした。振り返ってみると、本当に色々な事があったと感じます。

SSHの活動では、大学教授のご指導のもと、課題研究に打ち込



進学コース
3年1組
平 優哉
(佐野城東中)

獨協大学
外国語学部 英語学科

本校で過ごした3年間は、私を大きく成長させてくれました。中でも、外国語系クラスでは多くの貴重な体験を通して英語に対する認識を改めることができました。外国語系独自のカリキュラムは、



高い英語運用能力を問うものでやりがいがあり、級友たちと切磋琢磨しながら英語の実力と楽しさの両方を深めることができました。スピーチコンテストやプレゼンテーションコンテスト、英語劇も行いました。クラスはいつも和気藹々としていて、外国語系の授業はとても楽しいものでした。そんな外国語系のクラスも私たちの代で終了してしまいます。お世話になった先生方に感謝し、实际的に活躍する人材となるために今後も努力したいと思います。



文理進学コース
3年3組
増子 萌絵
(大田原中)

東洋大学
食環境科学部 食環境科
スポーツ・食品機能専攻

私は、3年間多くの人に出会い、支えられてきました。陸上部の活動では、監督の熱血指導のもと長距離の仲間たちと日々練習を積み重ね、全国の舞台を経験することができました。寮生活のため、親に頼ることができない私は、寮母さんが作ってくれる美味しい食事から毎日元気をもらい部活動と勉強の両立に励むことができました。また、辛い時は必ず仲間や家族が



白鷗祭

励ましてくれました。私が3年間充実した生活を送ることができたのは、このように、私を支えてくれる人の存在があったからです。大学でも寮生活をしながら競技生活が続きますが、周りへの感謝の気持ちを忘れずに努力していこうと思います。3年間ありがとうございました。



普通コース
3年3組
齋五澤 航介
(足利一中)

筑波大学
体育専門学群

思い起こせば3年前、期待と不安を胸に白鷗大学足利高等学校に入学しました。入学当初は不安でいっぱいでしたが、学業と柔道の両立を目標に必死に努力しました。挫折しそうになったこともありましたが、共に頑張ってきた部員たちやクラスメイトの支えのおかげで、柔道の技術の習得だけでなく、様々な事を学ぶことができました。柔道ができることの喜び、支えてくれる仲間たちへの感謝の気持ち、夢を叶えることの素晴らしさなど、数多くのことを学び、人間的にも成長することができました。その結果、団体では全国高等学校総合体育大会柔道競技で第3位、個人では全国高等学校柔道選手権大会73kg級第3位に入賞することができました。

4月からは大学に進学します。高校で得た知識と技術を糧として、前に進んでいこうと思います。3年間支えてくれた多くの方々から感謝しています。ありがとうございました。



総合選択コース
3年1組
谷 美沙希
(田沼東中)

シミックCMO 足利工場

白鷗で過ごした3年間は、とても充実した学びの日々でした。2年生から選択したライフ



中庭の桜

を作る楽しさや達成感を味わうことができました。これから社会に出ても白鷗で学んだことを生かし、『PLUS ULTRA』の精神を忘れずに頑張っていきたいと思います。沢山の先生方や友達に支えられ、助けられた日々感謝しています。3年間ありがとうございました。



商業コース
3年1組
石川 翔太
(栃木南中)

白鷗大学 経営学部

本校で過ごした3年間は、とても早く過ぎ去ったように感じます。私は本校に入学したとき、文武両道を目標に部活動や資格取得に力を入れようと決めました。学習面では、一般科目のほかにワープロ、エクセル、簿記などすべての資格で上級を目標に努力し

てきました。部活動との両立は思っていた以上に難しく、勉強をするのが嫌になる時もありましたが、目標に向けて努力する大切さを実感することができました。部活動では、サッカー部に所属し県大会優勝を目標に仲間と日々精進してきました。目標こそ達成できませんでしたが、部活動を通して協調性が身に付き、精神面で大きく成長できたと思います。先生方や仲間たちへの感謝の気持ちを忘れずに進路先でも頑張っていきたいと思います。3年間ありがとうございました。

活躍する部活動

関東大会

女子ソフトテニス部

関東選抜大会準優勝

1月12・13日、群馬県高崎市の高崎アリーナで関東高校選抜大会(女子)が開催されました。本校は栃木県第1代表校として出場、準優勝という結果を残し、全国選抜大会への切符を獲得しました。

1回戦の植草学園大附(千葉県)との対戦は3対0で勝利。勝てば全国選抜出場が決まる2回戦は相洋(神奈川県)に2対1で勝



サーブを打つ大久保さん

ち、準決勝の国本学園(東京都)との対戦も2対0で勝ちました。決勝戦では埼玉平成(埼玉県)に0対2で敗れ、初優勝は成し遂げられませんでした。チーム力

勝ち取った準優勝でした。全国選抜大会でも力を発揮して上位進出を目指していきたいと思えます。

【出場メンバー】

- 普通2の1 大久保由希さん (下妻中)
- 普通2の4 海老根香澄さん (鬼怒中)
- 普通2の4 大根田悠花さん (芳賀中)
- 普通1の1 牧野 詩音さん (黒磯中)
- 普通1の2 牧野 奏音さん (黒磯中)
- 普通1の2 山中 美緒さん (花園中)
- 普通1の5 三好 夏未さん (壬生中)
- 普通1の2 文理1の2 大橋 琉那さん (壬生中)

ボクシング部

吉澤リフィーバー 準優勝

第7回関東高等学校ボクシング選抜大会、第5回関東高等学校女子ボクシング選抜大会(1月24・27日、ALSOKぐんま総合スポーツセンター)に本校からは、



出場した選手たち

進1の2小林伽苗さん(栃木南中)が、決勝で3位となり表彰台に立つことができました。その他にも、男子では、普通2の3稲垣優一君(三和中)が100kg級7位、4x100mリレーでは普通2の1吉田龍生君(佐野北中)、普通2の1磯部剛君(栃木南中)、文

ライトフライ級で総進1の2山田楓海君(大平南中)、フライ級で文理2の4木村鴻汰君(佐野北中)、バンタム級で文理2の3齋藤貴大君(伊勢崎第一中)、ライト級で普通2の4生方龍信君(羽生東中)、ライトウェルター級で商業2の1伏田光君(大平南中)、ウェルター級で普通2の1田中大介君(美田中)、女子フライ級で総進2の2吉澤颯希さん(加須昭和)、女子ライト級で総進2の1リフィーバー仁菜さん(佐野北中)の8名が出場しました。

10月20・21日、山梨県甲府市の山梨中銀スタジアムにおいて、関東高校選抜新人陸上競技選手権大会が行われました。この大会は、県大会において各種目3位以内に入った選手が出場できます。本校からは、県で最多の28名が参加しました。その結果、女子4x100mリレーで文理2の3尾崎朱凜さん(壬生中)、普通2の3福田捺巴さん(佐野北中)、普通2の5関根こころさん(三和中)、総

進1の2小林伽苗さん(栃木南中)が、決勝で3位となり表彰台に立つことができました。その他にも、男子では、普通2の3稲垣優一君(三和中)が100kg級7位、4x100mリレーでは普通2の1吉田龍生君(佐野北中)、普通2の1磯部剛君(栃木南中)、文



4x100mリレーのメンバー

結果は、吉澤さんとリフィーバーさんが準優勝、伏田君が第3位となりました。惜しくも決勝戦で敗れた吉澤さんとリフィーバーさんは全国選抜大会出場にあと一步及ばず、悔しい一戦となりました。伏田君は準決勝で敗れたものの、全力を出し切り掴んだ第3位の戦績は、次戦に向けての自信につながりました。今後も部員一丸となり精進していきます。

女子バスケットボール部

新チームで関東大会出場

2月9日より千葉県茂原市市民体育館で開催された関東高等学校バスケットボール新人大会に出場しました。県予選では決勝で作新学院高等学校に敗れ、第2代表としての出場となりました。

初戦の相手は山梨県第1代表の富士学苑高等学校で、59対53で接戦をものにしました。2回戦の神奈川県第1代表・アレセイア湘南高等学校戦では、前半から相手のペースとなり苦戦しました。後半、文理1の1助川弥音さん(小山三中)、文理1の4岡田真琴さん(館林四中)のアウトサイドシュートを中心に得点を重ね、4点差まで差を縮めました。大会



大会会場にて

を通して見つかった課題を克服するため、今後さらに精進し、全国で戦えるチームを目指します。

バトントワーリング部 関東チームコンテストで金賞

11月10日、千葉ポートアリーナで開催された第53回バトントワーリング関東大会に出場しました。演技タイトルは「祈り」。



チームコンテストに出場した選手たち

部員5名という少人数ですが、上級の技を沢山組み入れた振り付けで挑みました。結果は、目標としていた金賞に一步届かず、銀賞でした。改めて全国大会出場を目標に、今後の日々の努力を部員一同で誓い合いました。

1月26日、横浜文化体育館で開催された第32回関東バトントワーリングチームコンテストに出場しました。3年生が引退し、関東大会での演技を4人編成に手直しして挑む初めての大会、かつ初めての上級部門への挑戦でしたので、不安でいっぱいでしたが、目標としていた金賞を取ることができました。

2月10日、サイデン化学アリーナで開催された第44回全日本バトントワーリング選手権関東支部

大会において総進1の3松島朋花さん(数塚本町中)がトゥーバトンU-18に出場し、第6位に入賞しました。

今後、チーム・個人共に全国大会出場を目標に頑張ります。

活躍する文化部

美術部 2年連続の受賞

第16回高校生マンガ・イラストグランプリにおいて、総選2の1武田チヒロさん(邑楽中)がチャレンジ賞を受賞しました。昨年のキャラクターデザイン賞と特別賞エス賞の受賞に引き続き2度目の



チャレンジ賞「戻れないあの頃に戻りたい」



優秀賞「小さくて忘れちゃった」

受賞となりました。また、第126回足利市高等学校合同美術展においても優秀賞を受賞しました。

武田さんは、「大変嬉しく思います。もっとたくさんの方のコンテストに挑戦することを目標に頑張っていきたいです。」と語り、ますます意欲的に取り組んでいます。

演劇部 23年ぶりに具総文祭演劇研究会に出場



楽屋にて

10月13・14日に行われた学校演劇祭足利・佐野ブロック大会に本校演劇部が出場しました。そして、ジョパンニの成長を描いた作品『祭よ、今宵だけは哀しげに―銀河鉄道と夜―』で最優秀賞を受賞し、11月17・18日に行われた県総文祭演劇研究会に23年ぶりの出場を果たすことができました。今回特筆すべきことは、演出・演技指導や衣装等で卒業生の強力な応援があったということです。

皆さんの応援とご協力のおかげで、感動の舞台を披露することができました。ありがとうございます。

書道部

「書の甲子園」入選

10月11・14日、「書の甲子園」とも言われている第27回国際高校生選抜書展(毎日新聞社・毎日書道会主催)の審査会が行われ、普通2の4藤貫真帆さん(結城東中)が入選しました。国内外の出品作品14458点のうち、入賞入選作品は2067点でした。

藤貫さんの作品は、後漢の隸書で、飾り気がなく、大きく丸みを帯びた、重厚で剛健な感じが特徴

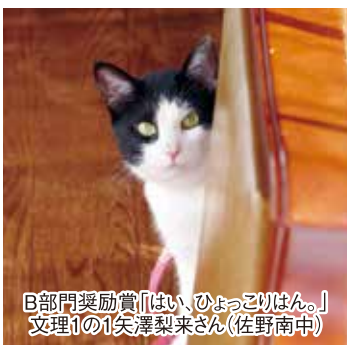
写真部

栃木県総文祭写真展で入賞

第40回栃木県高等学校総合文化祭写真展が文星芸術大学にて12月7・11日にかけて開催され、39校の高校から、798点の写真が展示されました。A部門課題は「いねー青春」でした。以下、入賞者3人の写真です。



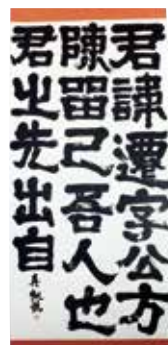
A部門課題佳作「いねー」
総進1の4新井琉奈さん(赤見中)



B部門奨励賞「はい、ひよっこちゃん。」
文理1の1矢澤梨来さん(佐野南中)



A部門自由佳作「浮遊空間」
総選2の2小林美華さん(羽生西中)



藤貫さんの作品

の「張遷碑」の臨書でした。これまで行書を書いてきた藤貫さんは、2年生になって初めて、この書体に挑戦。畳一畳分ほどの紙に、何度何度も書き込んで、完成させました。さらに精進を重ねることで、上位入賞への期待も高まります。今後の活躍が楽しみです。

全国大会

陸上競技部
全国高校女子駅伝5年連続出場

陸上競技部・水泳部・女子ソフト
ボール部・女子ソフトテニス部・
男子ソフトボール部・柔道部・
男子バレーボール部

12月23日、第30回女子全国高校
駅伝競走大会が、京都市西京極陸
上競技場を発着するコースで行わ



出場した選手たち

れ、本校の女子チームが5年連続
5回目の出場を果たしました。県
予選タイムで下位ランクとなつて

第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体

本年度も、栃木県を代表する選
手として、本校から多くの選手が
国民体育大会に出場しました。

特に柔道部は、本校チームが栃
木県の代表チームとして出場、ベ
スト16に進出しました。
出場選手・競技は以下の通りで
す。

【陸上】

共通1100mハーフマラソン

普通2の1 吉田 龍生君(佐野北中)

【女子ソフトテニス】

普通3の4 福田 真由子さん(今市中)

普通2の1 大久保 由希さん(下妻中)

普通2の4 海老根 香澄さん(鬼怒中)

総進1の5 三好 夏未さん(壬生中)

【水泳】

200m平泳ぎ

文理3の2 中根 千聖さん(足利中)

を賭けますが、県内ライバル校の
追隨も激しくなります。しっかりと
精進して実力向上を目指したいで
す。

◆短距離

1100mハードルB決勝で6位入賞

10月19日、愛知県名古屋市の
パロマ瑞穂スタジアムにおいて、
U18日本選手権大会が行われまし
た。この大会は、参加標準記録が



力走する吉田君(左から3番目)

設けられており、申込期限内に公
認大会で記録を突破した選手が出
場できます。本校からは、普通2
の1吉田龍生君(佐野北中)が参

200m背泳ぎ

普通2の4 磯野 稜介君(山辺中)

1000mバタフライ

文理1の1 宇賀神 海斗君(今市中)

1000m背泳ぎ

文理1の1 竹澤 天音さん(小山三中)

【柔道】

少年男子

先鋒 普通3の4 金井 亮哉君(協和中)

次鋒 普通3の3 齋五澤 航介君(足利中)

中堅 文理3の3 宇賀神 圭太君(足利中)

大将 普通3の2 長谷川 明伸君(天山口中)

加しました。その結果、男子11
00mハードルB決勝で第6位とな
りました。全国大会で結果を残す
ことは大変なことですが、今大会
での経験を次の大会につなげてい
きたいと思えます。応援ありがとう
ございました。

水泳部 水飛沫をあげて

2月17日、栃木県立温水プール
館において、第41回全国JOC
ジュニアオリンピックカップ春季
水泳競技大会栃木県予選会行われ
普通2の4磯野稜介君(山辺中)
が200m背泳ぎに出場して見事
標準記録を突破し本大会への出場
権を獲得しました。

3月29日、東京辰巳国際水泳場
において、本大会が開催されまし
た。結果は初出場の緊張感もあり
予選30位敗退となり決勝進出を逃
してしまいました。インターハイ
よりもレベルの高い大会での経験
を教訓として、県高校総体での団
体優勝(5連覇)と関東大会での



中央が磯野 稜介君

表彰台、インターハイの決勝進出
を目標として日々努力していきま
す。応援ありがとうございます。

女子ソフトボール部 新チームデビュー戦

3月25日、29日にかけて、千葉市
蘇我スポーツ公園他会場において、
第64回全国私立高等学校女子ソフト



監督のアドバイスを聞く選手たち

トボール選抜大会が開催されまし
た。全国各地より44チームの強豪
校が集結し、熱戦が繰り広げられ
ました。前半2日間は予選リーグ
で、都城東高校、奈良文化高校、
岐阜女子高校と対戦し、1勝1敗
1分という結果でした。抽選会の
後、2部決勝トーナメントへ進み
ました。初戦は熊本府高校に大
勝しましたが、次試合は宿敵文星
女子高校に、6対7という結果で
惜敗しました。「インターハイ出
場」という目標を達成するため、
一人一人が粘り強く努力を継続し
成長します。大会中は、たくさん
のご声援を頂き、ありがとうございます。

HAKUSHI
女子ソフトテニス部
4年連続15回目の出場

3月28～30日、愛知県豊田市にあるスカイホール豊田で、全日本高等学校選抜ソフトテニス大会が行われました。

本校は初戦となる2回戦で、中国ブロック大会で優勝した山陽女子高校（岡山県）と対戦しました。1番に出場した普通2の1大久保由希さん（下妻中）・普通2の4海老根香澄さん（鬼怒中）ペアは、相手の大将ペアと対戦しましたが、G112から逃げ切れられ、G114で敗退。2番で出場した総進1の5三好夏未さん（壬生中）・普通2の4大根田悠花さん（芳賀中）ペアは、ファイナルゲームでマッチポイントを握るも取り切れずG314で負けてしまいました。3番の文理1の2大橋琉那さん（壬生中）・総進1の1牧野詩音さん（黒磯中）はリードされてから粘るもG214で負け、チームとしては0対3で敗れてしまいました。

ゲームキャプテンの大根田さんは試合後、「1ポイントを取る難しさを痛感しました。今大会の経験を生かし、チーム一丸となってインターハイでの活躍を目指していきます。」と語ってくれました。応援ありがとうございました。



大会会場にて

HAKUSHI
男子ソフトボール部
全国1勝はまだ遠い

3月16～20日に東京都あきる野市において男子ソフトボールの全国選抜大会が行われました。我が男子ソフトボール部においては今年で連続5回目の出場となります。我々のチームは千葉県代表の千葉敬愛高等学校と佐賀県代表の牛津高等学校の勝者と対戦、またこれを勝ち抜いたとしても長崎県代表の優勝常連校、大村工業高等学校が待ち受けるという厳しいプロッ



アドバイスをもらう選手たち

3月19・20日、東京都の日本武道館において、第41回全国高等学校柔道選手権大会が開催されました。本校からは団体戦で6名、個人戦で3名が出場しました。

団体戦では1回戦、山形県代表の羽黒高校と対戦しました。全体的に固さが目立った中、接戦を制し、1人残して勝利しました。2回戦では熊本県代表の九州学院高校と対戦しました。先鋒戦から一進一退の攻防が続き、大将戦でも勝敗がつかず、代表戦に突入しま



試合前の様子

くに入りました。大会2日目、牛津高校を10対9の接戦で制した千葉敬愛高校との初戦となりました。2回までは0対1で千葉敬愛の強力打線をなんとか抑えることができましたが、3回、ピッチャーの制球が乱れたうえ、普段は少ない守備のエラーなども重なり、大量10得点を許し勝負が決まりました。結果は3対16の5回コールド負けとなりましたが、進学1の4赤坂文平君（山辺中）のセンターオーバリーのヒットなどで、3得点を奪い、一方的なゲーム展開の中でも、良い攻撃の形を見せることができ、上位大会での1勝を目指して頑張ります。これからも応援よろしくお願いします。

HAKUSHI
柔道部
全国の強豪校と紙一重!

個人戦においては81kg級の澤口宗志君がベスト16と健闘しました。今回の大舞台での経験を今後の活動に繋げていきたいと思えます。応援ありがとうございました。

全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会栃木県予選では、

HAKUSHI
男子バレーボール部
創部以来初の全国大会出場

3年連続決勝に進むものの、あと一步のところで涙をのんできました。しかし、今年は4度目にして創部以来初となる全国大会出場の切符を手にすることが出来ました。我々のチームは、大型選手はいませんが、チームワークの良さ、コートにボールを落とさないという執念で頑張ってきました。数年前までは部員数もギリギリだったチームが全国大会出場を勝ち取る



戦いを前に円陣を組む白鷲チーム

の賜物です。

全国大会は、5チームによる予選リーグが始まり、初戦は、岩手県代表の一関修紅高等学校と対戦。20点にのりつつも最後の詰めが甘く惜敗しました。その後、3試合で敗退し全国の壁の高さを思い知らされました。この悔しさをバネにして、全国大会で得た貴重な経験を今後生かしていきたいと思

本校舎トピックス

商業・総合選択コース インターンシップ

10月23～26日の4日間、商業コースと総合選択コースの2年生合わせて140名を対象に、インターンシップが実施されました。

生徒たちは、事前に宇都宮ビジネス電子専門学校 羽石校長先生によるマナー講座を受講し、インターンシップの意義や、働く上で気をつけなければならないことなどを学んだ上で、インターンシップに臨みました。



信用金庫での実習の様子(商業)

最初は慣れない業務に戸惑う姿も見られましたが、実習先の方々も親切丁寧なご指導のおかげで、働くことにやりがいを感じ、自ら積極的に行動できるようになっていきました。



工場での実習の様子(総合)

生徒たちは今回のインターンシップを通して、社会人としての責任を自覚しようです。中には、インターンシップが終わった後にも、保育園の行事の手伝いに自ら参加し、将来の夢に向かって努力する生徒もいました。とても有意義なインターンシップとなりました。



文理進学総合進学コース 白鷗大と東洋大を見学

11月22日、文理進学コースと総合進学コースの1年生を対象に大規模な見学が実施されました。今回の



東洋大学にて

見学は、2年次の文理選択や分野選択の参考となること、また生徒たちの進路選択につながることを目的に行われました。

修学旅行

文理2の3 相場 美夏石(佐野北中) 沖縄

私たちは、修学旅行の事前学習で、戦争の悲惨さや平和の大切さを学び、沖縄のことについて理解したつもりになっていました。しかし、沖縄には、私たちが学んだことよりも更に深い戦争の傷跡がありました。

戦争体験者の方の講話をお聞きし、見学した平和祈念公園。平和の礎の前に流れる噴水や、地面の

白鷗大学の太行寺キャンパスでは、大学の概要説明を聞いた後、在学生の先導でピアノレッスン室や図書館などの施設を見学。その後、車中から東キャンパスを見ながら、東洋大学板倉キャンパスへと移動しました。東洋大学では、各キャンパスについての概略説明を受け、在学生の案内で実験室棟などの見学をしました。

参加した生徒たちは、高校とは異なる大学の設備や雰囲気、大いに刺激を受けていたようです。

エリア学習発表会

総合選択コースでは、12月12日に7回目となるエリア学習発表会が行われました。

まず芸術エリア・音楽系によるハンドベル演奏があり、合唱・合

波模様、礎の形などには、沖縄から世界に平和が広がるようにとの願いが込められていることを知りました。礎には沖縄戦で亡くなったすべての方々の名前が刻まれており、それを見ると胸がしめつけられるように感じました。

修学旅行で平和について考えを深めることができただけでなく、様々な沖縄の魅力を発見することができ、また、クラス全員で思い出の1ページをつくり上げることができました。

奏の発表がありました。次に、情報メディアエリアによる作品集の上映がありました。さらに、ライフェリアによる華麗なダンス発表や季節ごとの製作作品の展示など学習内容の発表がありました。最後に、芸術エリア・書道系の生徒が各自の書の気持ちを語りながら作品を披露しました。

それぞれが希望したエリアの学習内容について互いに理解し、絆を深めることができました。



ハンドベルの演奏をする生徒



かりゆしビーチにて

白鷗祭 2018

「僕らが創る平成最後の青春」
文理3の3 檜垣愛志君（小山工中）



ポスター 文理1の1 宗片 泰憲君（佐野南中）

9月21・22日の2日間にわたって、3年に1度の白鷗祭が開催されました。

本校舎の全クラスが模擬店などで参加したほか、文化部が日ごろの活動の成果を発表しました。体育館では、吹奏楽部の演奏や演劇部の公演、書道パフォーマンス、バトン部の演技披露、有志によるバンド演奏、総合選択コース2年生によるダンスなどが行われ、白鷗祭を盛り上げました。また、その過程を記録する放送部の活躍もありました。

企画から準備、そして当日の実施まで仲間と意見を出し合い、協力して文化祭を創り上げました。平成最後となる文化祭に生徒一人



テープカット

ひとりが様々な想いを込め、高校時代を彩る思い出をつくることができました。

文化部活動の様子



茶道部



生活科学部



情報処理部



放送部



美術部



写真部



生徒会



吹奏楽部



書道部 / 書道パフォーマンス



総選2年(音楽系)

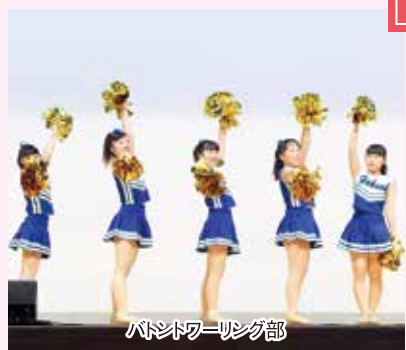
体育館・催し物



演劇部



総選2年(自選スポーツIV)



バトンワリング部

富田キャンパストピックス

修学旅行

11月8日～13日にかけて、富田キャンパス2年生の修学旅行が実施されました。アメリカ西海岸と沖縄の2コースから、各々が希望するコースを選択しました。



ユニバーサルスタジオ(アメリカ)

アメリカ西海岸コースでは、カリフォルニアサイエンスセンターや、ハリウッドでの観光のほか、デイズニールランド・ユニバーサルスタジオ・グランドキャニオンの3コースに分かれての観光もあり、異文化を感じながら、楽しい時間を過ごしました。また、UC LAやサンタモニカでは、「現地の人と英語でコミュニケーションをとる」というミッション型の班別行動がありました。初めは戸惑っていた生徒たちですが、英語が通じた時には大喜びする姿が見



首里城(沖縄)

られ、英語学習への意欲を刺激する良い機会になりました。

沖縄コースでは前半を石垣島で過ごし、エメラルドグリーン美しい海でシュノーケルやカヌーをしたり、竹富島でサイクリングを楽しんだりしました。また、後半は本島に移り、美ら海水族館や国際通り、首里城を観光しました。その中でも、平和記念公園では、唯一の地上戦が行われた戦争の傷跡を目の当たりにし、平和の大切さを改めて感じたようでした。すべての生徒たちがそれぞれに大切なものを得ることのできた修学旅行になりました。

白鷗理科教室

3月16日、山川こども館にて、地域の小学生を対象とした白鷗理科教室が行われました。今年度は



実験を指導する生徒たち

この大盛況を受けて、今後も精力的に活動を継続する予定です。現在は、近隣の小学生を対象としていますが、今後は、地域を拡大し、より活発な活動をしていきたいと考えています。

女子サッカー

1年生大会優勝

12月15日、栃木県さくら市のSAKURAグリーンフィールドにて、高校女子サッカー1年生大会が開催されました。各高校の1年生を中心に8人制の大会が行われました。はじめ5チームでの予選リーグを行い、本校は3勝1分で1位抜けをすることができました。その後、順位決定戦を行い、決勝戦では宇都宮短期大学附属高校と対戦しました。お互いに失点を許さず、緊迫したゲーム展開が繰り広げられました。結果、0対0のままPK戦に突入し、なんと

センター試験応援

1月19・20日の2日間にわたり、足利大学にて平成31年度大学入試センター試験が実施されました。

今年は、昨年より減少したものの、全国で57万人を超える受験生がセンター試験に臨みました。本校からは161名の生徒が、日頃の学習の成果を発揮すべく、試験会場に向かいました。緊張した面持ちでやって来た生徒たちも、正門前で本校教員の姿を見かけると、表情が和らぎ、笑顔を見せてくれました。教員たちから激励を受け、「頑張ります」



試合中の様子

か勝利を収めることができました。1年生大会で優勝するのは初めてで、全員で喜びを分かち合いました。今後は、インターハイ予選や選手権予選が始まるので、日々の練習を大切にし、「関東大会で戦えるチーム」を目指して、努力を継続していきます。これからも応援宜しくお願い致します。



激励の様子

と元氣よく会場に向かう姿は頼もしいものでした。今年の問題の傾向としては、対話形式での出題、図の読み取りから考察する問題等、2020年度から実施される共通テストを意識した問題が多く見られたようです。

PTAだより

ブレイク・スルー「壁を打ち破れ」 PTA会長 西場 伸一



卒業生の皆さん、保護者の皆様、御卒業おめでとうございます。

皆様の胸には、白鷗大学足利高等学校で勉強に励んだ3年間の思い出が数え切れないほど浮かんでいることと思います。今までに培った「PLUS ULTRA」の理念と、諸先生方から教えるを受けた技術や知識を生かしてこれからも大きな夢に向かって前進して

新生徒会役員誕生

新生徒会は、11月1日の認証式をもって発足しました。昨年から経験者は9名で多くは新メンバーですが、一人ひとりがやる気に満ち溢れており「学校をよりよくする」との熱い思いを持っていきます。先輩から引き継いだ登校時の挨拶運動、ペットボトルのキャップ回収などのほか、東京オリンピックに向けて、「みんなのメダルプロジェクト」



本校舎生徒会役員

- 会長 長普通2の4 藤貫真帆 (結城東中)
- 副会長 総選2の1 大野尚吾 (板倉中)
- 普通2の2 田島茉友花 (清流中)
- 文理1の4 猿橋慎之助 (佐野南中)
- 議長 普通2の2 植野綾華 (小山中)
- 副議長 文理1の4 河田流空 (桜木中)
- 書記 文理1の1 矢澤梨来 (佐野南中)
- 総選1の1 吉澤奈美 (赤見中)
- 普通2の2 飯塚樹瑠 (結城東中)
- 文理1の1 長谷川瑠南 (定利北中)
- 総選1の1 小川千陽 (坂西中)
- 総選1の3 大嶋伊織 (坂西中)
- 文理1の1 恩田花音 (佐野北中)
- 文理1の1 辻 彩花 (佐野西中)
- 会計監査 文理1の1 辻 彩花 (佐野西中)



富田校舎生徒会役員

- 副会長 進学2の3 渡邊 旭 (栃木西中)
- 議長 進学1の4 持田真衣 (多々良中)
- 副議長 特選1の2 秋山万鈴 (白鷗足利中)
- 書記 進学2の4 下山純凜 (栃木東中)
- 計 特選1の2 石川百々果 (佐野北中)
- 会計監査 進学2の2 多田茉優 (愛宕台中)
- 進学2の4 櫻井詳子 (太田北中)
- 進学2の4 東 優希 (くまみ国際アカデミー)
- 特選2の1 笹川優奈 (山辺中)
- 進学1の2 松本 花 (白鷗足利中)
- 特選1の1 大川葵衣 (佐野西中)

の取り組みを始めました。「PLUS ULTRA」の精神で、生

徒会役員が丸一となって、伝統を守るだけでなく新しいことにチャ

レンジしていきます。

くください。ところで21世紀に入って十数年が経過しますが、日本の若いスポーツ選手が世界で大活躍するようになりました。メジャーリーグ・プロテニス・卓球・水泳など、卒業生や在校生の皆さんと同年代の人達が、先輩達に負けずに素晴らしい成績を残しています。彼らに共通する事は、日本のトップに甘んじることなく、常に世界のトップになる夢を持ち続け、自分の力を信じ、人一倍の努力を続け、世界のライバルと戦う大きな夢を

実現させて来たことではないです。予餞会 2月1日、3年生にとっては卒業を前にしての大きな学校行事となる予餞会が、新体育館で行われました。学校長、生徒会長の挨拶の後、



しようか。

卒業生・在校生の皆様も「ブレイク・スルー」(壁を打ち破れ)の勇氣を持って過去の概念にとらわれることなく、自分の夢に向

今年度同好会になったMusic Art Clubが美しい歌声と演奏を披露、Twin girlsが2人で見事な歌声を聴かせてくれました。そして特別ゲストとして、今回はよしもと芸人のジョイマンが登場。さらに、ひよっこりはんが紹介されると一段と大きな歓声が湧き起こり、30分程ではありましたが笑いが絶えない時間を過ごしました。その後、職員バンドの演奏と歌



Twin girls

A・N・J・Iの3曲にわたる歌と演奏の披露、奥山ダンススクー

ルによるキレイキレイのダンス、バントワリング部による演技と出し物が続き、3年生の高校生活を振り返るスライドショーで幕を閉じました。

編集後記

「美しい花には、隠れた根の力がある。」この言葉は、毎年贈られる岡部校長先生から卒業生への饞の言葉です。努力を惜しまず、それぞれの夢を叶え素晴らしい人生を歩んでほしいという、本校を巣立っていく生徒たちへの期待と激励の思いがこもっているように感じます。

私たちが咲かせる花に、同じものは一つもありません。誰が見ても美しい大輪の花もあれば、道端にそっと咲いているような小さな花もあるでしょう。その花々を美しく咲かせるものは、私たち自身に秘められた力です。そして、その力がたくましい根となり、さらには美しい花を次々と咲かせ続けるのだと思います。人生には苦勞はつきものです。それさえも糧として日々を楽しみ、自分だけの美しい花を咲かせたいものです。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。編集・校報委員会 発行・白鷗大学足利高等学校 足利市伊勢南町3の2 0284-4110890 制作・(有)コーエイプロセス 発行日・平成31年3月31日